

# 2019(H31)年度省エネグループ活動報告(含過去の活動)

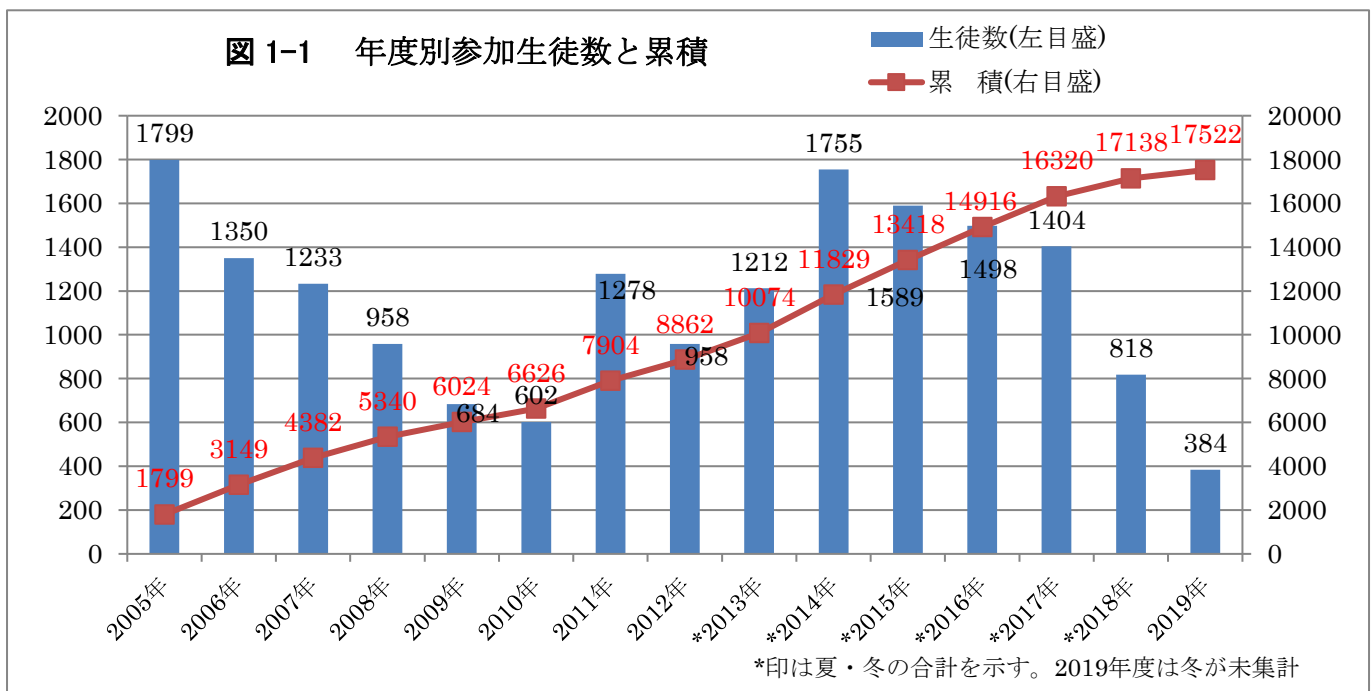
## 活動の概要

省エネグループは、従来通り市民に対する地球温暖化防止のための省エネルギー意識の普及啓発をしていくことを基本に活動を継続するが、SDGsの理念や目標を踏まえてよりわかりやすい情報発信や啓発活動を行っていく。

## 1. エコライフ・チャレンジ関係

### 2019 年度の実績

- ① エコチャレンジは参加校6校、参加児童 639 人の内、回収できたのは 384 人で 60%が実践しました。冬エコチャレンジは参加校6校の参加児童 854 人)ですが、1 月末現在回収済みは未だ1校ですので、回収が済み次第、集計および報告書を作成し 2 月末をめぐりに各学校に報告する予定です。
- ②活動を始めてから 2018 年までの累積は約 17,000 人で、年間平均 1,200 人が取り組みました。



### ③夏エコの成果

【チャレンジ結果】自分で選んだメニューを加えると「良くできた」の割合が、12.2%増えました。子どもたちは実際にエコライフを体験する事により地球温暖化について理解を深め、温暖化防止のために意識して続けていくモチベーションを高めています。このことは毎年家庭内にも波及し、家族が協力して取り組む「気付き」や「キッカケ」になっています。

### 【節電効果】

今夏に回答のあった家庭128件の電気使用量は昨年夏に比べて、合計=4,779kwh(9.3%)の減少でした。

今年の夏は昨年にも増して猛暑が続いたにも拘らず、冷房などの電気使用量は大幅に減少しました。チャレンジではカーテンやすだれの活用、扇風機との併用、涼風時の風通しをよくするなど、いろいろな工夫をこらして対処され、エアコンも熱中症など健康に留意しながら適切に使用されていました(チャレンジ後の感想より)。

## 【二酸化炭素削減効果】

7日間チャレンジした結果、約1,225kg-CO<sub>2</sub>のCO<sub>2</sub>削減効果がありました。1人当りでは約3.2kg-CO<sub>2</sub>になります。この数値は算定最大値3.5kg-CO<sub>2</sub>の91%に当たり過去最高を記録しました。

冷房にかかる電気使用量は増加しましたが、反面その他の対策についてより前向きに捉え実践されていることを示しています。

## 2. 出前授業関係

### 2019年度の実績

- ① 2019年度の実績は、小学5年生を対象に、延べ18校の小中学校で1,474名、55クラスに実施することができました。内訳の中には、県学校派遣事業で川崎市立南加瀬小学校5年生2クラス70名に、川崎市内以外の学校としては、横浜市立橋中学校1年生の7クラス249名にも対応しました。更に、メンバーのお孫さんが通う品川区立第4日野小学校5年生、6年生の75名にも対応しました。また、センターと共同で、川崎市立東橋中学校で発電体験等に参加しました。

一方、過去を含めて初めて出前授業の依頼があった学校は、県派遣を含めて8校でした。

また、今までのプログラムの内容も見直し、最新情報を取り入れリニューアルして授業に使用しました。また、事前打ち合わせ時に学校の希望を取り入れて一部修正・追加して学校オリジナルプログラムとして5校で実施するケースもありました。

2010年度からの実績の推移は、図2-1、図2-2に示す。

学校以外では、川崎市地域女性連絡協議会(川女連)の総会で要請を受け、約50名を対象に、「地球温暖化」に関する学習会を実施しました。

図2-1 参加人数の推移

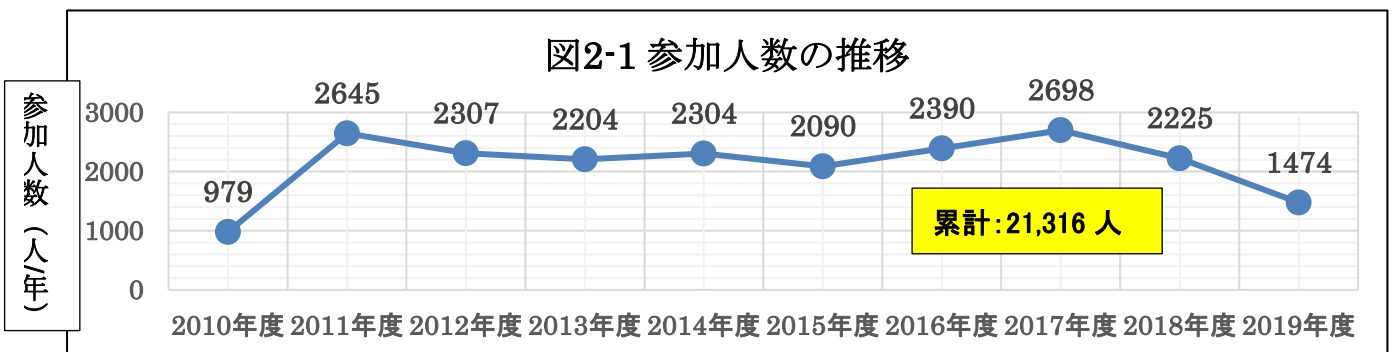
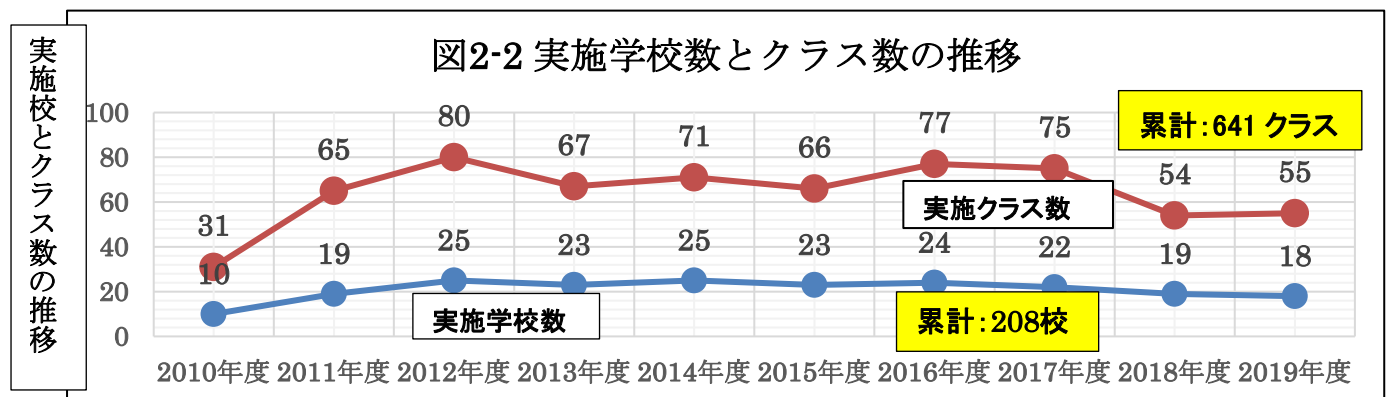


図2-2 実施学校数とクラス数の推移



- ②希望されたプログラムの内訳においては、依然として「地球温暖化」に関心が高いが、省エネグルー

プログラムの途中で下記の出前授業を実施することが出来ました。

プログラム毎の実施回数は下記の通りです(小数点は、1回の実施で組み合わせて実施したもの)。

- ・「地球温暖化とは～見て・触れて・感じて～」 8.5回
- ・「節電にみんなで取り組もう！」 3.5回
- ・「はっぱはえらい」 4回
- ・「水素が地球を救う」 2回

- ③子ども達のアンケートや質問によく出てくる「再生可能エネルギー」に関心が高いことが分かり、これらエネルギーのプログラムの必要性を感じて、新規プログラムとして検討して来ました。プログラムとしては、完成させましたが、諸事情から今回は見送ることとしました。
- ④出前授業後に実施したアンケートを集約・分析して、報告書を作成し報告しました(アフターフォロー)。報告の際一人一人の質問への回答も説明しています。1件の出前授業に対し、「事前打ち合わせ→出前授業の実施→報告」と3回学校に行くためその労力は大変ですが、先生方からは、「分かり易い授業だった」「体験があって分かり易い」「学校の希望を取り入れて実施して頂き感謝」「報告・対応に感謝」「自分の質問に回答が返ってきたと子ども達が喜んでいる」「授業後の環境の取り組みがスムーズに進んだ」等の多くの感謝のコメントを頂き、今後の活動への大きな励みになっています。
- ⑤また、先生方や子ども達から多く寄せられているのは、「講義の内容が分かり易く楽しく学べた」「体験が分かり易い」「体験で講義の内容をより深く理解出来た」などのコメントでした。
- ⑥体験には、今年度新たに作成した風力発電を体験に取り入れしました。体験した子ども達や先生方に、分かり易くて良いと好評を得ています。  
一方、昨年に引き続き、東京ガス(株)から借用の「温暖化模型」活用で CO<sub>2</sub>が温度を上げる作用があることを実感し、CO<sub>2</sub>削減が大切だと勉強してもらいました。また、東京電力パワーグリッド(株)から借用の「火力発電デモ機」活用で、発電の仕組みを目で見て理解し、発電時に CO<sub>2</sub>を排出していることを確認して電気を使うと CO<sub>2</sub>を排出していることを実感し、節電が大切との認識に役立っています。これらの体験で、省エネ・節電で CO<sub>2</sub>削減の意識付けに大きく貢献でき、体験をしたことで温暖化防止や節電・節水・省エネなどの講義内容の理解度が深まり、「良く分かった」「実感出来た」「節電・節水に取り組む」「家族や皆に話す」などとの声が、アンケートに多数見られ、体験の効果が高いことが十分に伺えました。体験が、短時間の中で理解を深める重要な要素になっていることが明らかで、今後も継続して活用して行く様にします。
- ⑦「総合的学習の時間」で学習する「キッカケ作り」または「情報提供」の形で出前授業の要請を受けており、子ども達は、その後それぞれ課題を見つけて「調べ・検討・まとめ・発表」する学習でまとめたことを学内・地域の人々を対象に発表しています。その発表会にも、招待を頂き見学できました。子ども達が生き活きとして発表する姿を見学し、出前授業の効果が出ているのを確認できました。
- ⑧今年度も、センター主催の自治会・町内会での環境学習会の要請を受けて、多摩区の長尾町町会(受講者27名)、麻生区の王禅寺みどり町会(受講者10名)に対して「節電・省エネ」の学習会を実施しました。  
町内会・自治会の学習会を実施してからの実績を図2-3、図2-4に示します。

図2-3 実施件数

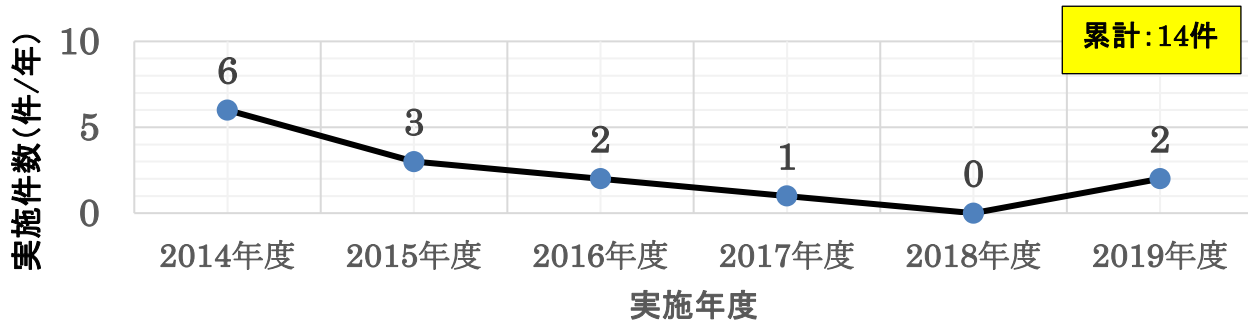
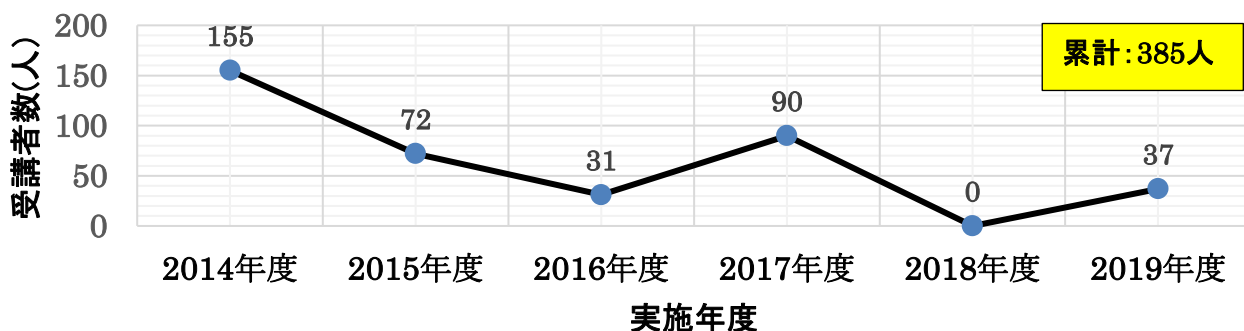


図2-4 受講者数の推移



### 3. イベント関係

#### 2019年度の実績

14件の内11件のイベントに参画し、約800人の参加者がありました。

※企画展示の内容: 展示=活動紹介ポスター、燃料電池模型ほか、体験=手回し発電  
 工作=クリップモーター作り ( )内は参加者数を示す。

- ① 4/26(土)ミニ講座(教育文化会館)  
 ・主催: 川崎地域女性連絡協議会 ・地球温暖化ミニ講座(50人)
- ② 5/2(木)GWスペシャルエコイベント(高津市民館)  
 ・主催: 川崎市地球温暖化防止活動推進センター ・展示、工作(14人)
- ③ 5/25日(土)「遊びの縁日」(川崎市・渡田小学校)  
 ・主催: 臨港中学校区寺子屋事業 ・展示&体験(約20人)、工作(20人)
- ④ 6/1(土)推進員自主講座(CC かわさき交流コーナー)  
 ・主催: 地球温暖化防止活動推進センター ・夏エコチャレンジプレゼン(参加10人)
- ⑤ 7/7(日)国際フェスティバルinかわさき2018(国際交流センター)  
 ・主催: かわさき国際交流民間団体交流会ほか ・展示・体験、燃料電池模型(200人)
- ⑥ 7/30(火)恩廻公園調整池見学会(恩廻公園)  
 ・主催: CCあさお ・地球温暖化講座、参加者(30人)
- ⑦ 8/2(金)夏休み! 多摩区エコフェスタ2019(多摩区総合庁舎)  
 ・主催: 多摩区エコロジー事業 ・展示、工作(16人)

- ⑧ 8/3(土)夏休み自由研究シリーズ(高津市民館)
  - ・主催:川崎市地球温暖化防止活動推進センター ・展示、工作(45人)
- ⑨ 8/31(土)「科学とあそぶ幸せな一日」(KO新川崎キャンパス)
  - ・主催:慶應義塾大学&幸区 ・展示・体験(約300人) ・工作(10人)
- ⑩ 11/10(日)フェスタ'18生涯学習センター学園祭(川崎市生涯学習センター)
  - ・主 催:川崎市生涯学習センター ・展示、工作(30人)
- ⑪ 12/14(土)12/16(土)第7回川崎環境フォーラム(高津市民館)
  - ・主催:川崎市地球温暖化防止活動推進センター ・展示、工作(37人)

#### 4. 企画チーム

##### 2019 年度の実績

- ① 第7回環境フォーラム(2019/12/14 開催)の環境絵画展の作品募集活動に今年も1役  
環境絵画展の出前授業先に募集依頼・全体 340 点中、140 点の数多くの作品応募有り。

- ② 省エネ G の行政との勉強会の開催

開催期日: 2020 年 1 月 23 日(木)17 時

会場: てくのかわさき 福祉パル高津会議室

テーマ: 「川崎市の水素エネルギー戦略について」

講師: 川崎市臨海部国際戦略本部 金井将希氏

参加者 八木代表はじめ省エネグループ 13 人

別の日に関連施設の見学会の開催予定。見学会社施設名 東亜石油(水素関連施設)  
施設の見学は受け入れ可能定員の中で省エネグループ以外の関心の持つ方々にも参加  
を呼びかけたい。

2017 年度 「川崎市地球温暖化対策推進基本計画の改定について」

講師 川崎市環境局地球環境推進室 担当課長 宮川潔氏

2018 年度 「川崎市の地球温暖化対策について」

～マルチベネフィットの地球温暖化対策などにより低炭素社会を構築～

講師:川崎市地球環境推進室 担当課長 喜多 智英氏

- ③ 第6回省エネグループ公開講演会の開催中止

今年も当初予定していた「再生可能エネルギーは果たして環境にやさしいか？」のテーマで竹内純子先生(国立環境経済研究所)に絞り込み講師をお願いしようとしたが 2-3 月は卒論指導で大変お忙しいということで依頼を断念せざるを得なくなった。

過去には以下の講演会を行い、好評であった

第4回 2017 年度(2018/2/12)牛山 泉氏「風力発電の現状と展望」

第5回 2018 年度(2019/2/24)北村和也氏「地球温暖化と再生可能エネルギー」

～世界の動向と日本の現状、再生エネ活用の意義と地域活性化～

・市民への省エネ意識の継続的な普及啓発

## 5.広報

### 2019 年度の実績

- ① 省エネグループ通信の発行と掲載内容(1000～1500 部を印刷、配布)  
2017 年 第 13 号 各グループ活動報告、講演会の様子  
2018 年 第 14 号 風力発電の現状と展望について、牛山泉先生講演内容  
第 15 号 2017 年度 各グループ活動報告  
2019 年 第 16 号 2018 年度 各グループ活動報告
- ② 省エネグループ HP 見直し  
2019 年 HP を一新しました。記事更新が容易になり、見易くなりました。  
新アドレス <https://www.syo-ene-group.com/>

### 6. 過去 3 年間のエコライフ・出前授業・イベントの実施数をまとめると以下の通りとなります。

(参加した人数はグラフを参照してください)

項目	区分	2017年度	2018年度	2019年度
エコライフ	夏エコ	13 校	8 校	6 校
	冬エコ	7 校	4 校	6 校
出前授業	地球温暖化とは	9 校	9.4 校	8.5 校
	はっぱはえらい	5 校	4 校	4 校
	エネルギーとは	1 校	1.3 校	0
	節電にみんなで取り組もう	5 校	3.3 校	3.5 校
	水素が地球を救う	2 校	1 校	2 校
	省エネ・総エネ設備について	1 校	1 校	0
イベント		14 回	18 回	11 回